



輝け 未来へ 中番校

No one will be left behind



北播小学生陸上競技記録会開催。よく頑張りました！

－ Change (変革) , Challenge (挑戦) , Continue (継続) －

先週の土曜日、二十四節気という「霜降（そうこう）」朝霧が見え始め、秋気が去って冬の兆しを感じる頃ということでしょうか。季節は確実に動きもう冬に向かっていくのですね。

昨日、時折陽が射す少し肌寒い中、北播小学生陸上競技記録会が、三木防災記念公園陸上競技場で開催されました。本校からは、80m ハードル、100m、800m、1500m、走幅跳、ソフトボール投げに、5、6 年生の子供達が、自分の種目に、自己ベスト更新を目指し、力一杯挑戦してくれました。10 月 1 日に緊急事態宣言が解除されてから、練習ができるようになったので、練習する時間も十分になく、限られた時間でしたが、子供達は、放課後の練習を本当によく頑張りました。小野市にとって、この陸上競技は大変、馴染みが深いものです。実際、私がこの仕事についた時は、すでに多くの学校が様々な大会に参加をしていました。保護者の皆様の中にもこのような陸上の大会に参加したご経験がおありの方もおられるのではないのでしょうか。私も今まで勤務した学校の子供達と様々な大会に参加しました。その時々色々な思い出、様々な場面が今でも思い出されます。春は何と言っても兵庫リレーカーニバル、初夏から夏にかけては、5月の郡市区対抗リレー、6月の全国小学生陸上競技交流大会兵庫県予選会、秋には小野市小学生陸上競技大会、兵庫県小学生陸上競技大会、そして、この北播小学生陸上競技記録会、一年を通して色々な大会に参加してきました。私が勤めて初めて参加した兵庫リレーカーニバルでは、あのユニバー記念競技場の大きさ、広さに驚き、400mトラックの美しさ、ほぼ満席の観客席、競技者に送られる競技場に溢れる割れんばかりの応援と声援、その大会の規模に、

雰囲気、空気感に圧倒されたのを今でも覚えています。今回もこのような普段と全く違う環境の中、子供達は走り、跳び、投げる訳です。どんな気持ちで、どんな思いで、ゴールを駆け抜けていったのでしょうか。極度の緊張の中、練習の力を存分に発揮することの難しさを思いました。競技を終え、戻ってきた時の子供達の中には、力を出し切った後の爽快感を、あるいは試合の難しさを感じた子供もいることでしょう。しかし、何事にも代え難い体験・経験だったのではないかと思います。誰もがヒーロー【hero】でした。この小学校の陸上に関しては、様々な考え方があることを十分承知しております。ただ、言えることは、どの学校のどの子供達も、真っ直ぐに前のみを見つめ、自分の種目・自分の競技と真剣に向き合っていた姿がそこにあったと思います。小野市のような小さな市から、お二人の陸上のオリンピック選手を輩出したことも、遠いところで、見えないところで繋がっているのかもしれませんが。何はともあれ、自分が真剣に打ち込むことがあることは、子供達にとってとても幸せなことだと思います。

さて、話は変わって **NLP、あと残り3週間** となってきました。嬉しいことがありました。それは、**1日、2日で問題集を1冊仕上げる子供がいます**。最初は、えっ？と思いました。高学年の問題集は結構分厚いものです。確認表には、その問題集を合格した日付を記入しています。それを見ると合格の日付が 1 日、2 日しか経っていないのです。大変、嬉しかったですね。後3週間、そんな**ミラクル【miracle】**をいっぱい楽しみにしています。

今朝は雨でした。服装は、体調に合わせて調節するよう、子供達にも伝えています。また、感染症対策については、「**恐れず、正しく、適切に**」**対応し、感染症対策（朝の検温、マスクの着用【不織布マスクを推奨】、手洗い、手指の消毒、3密回避等）を徹底します**。保護者の皆様のご理解とご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。また、新型コロナウイルス感染症についてご心配なことがございましたら遠慮なくご相談ください。中番小学校は、子供達、保護者の皆様、地域の皆様と共に歩んでいきます。